

Biblia

* 心に残るすばらしい本に出会いましたか？

新任の先生方と、学生みなさんに「思い出の本・好きな本」
を紹介していただきました。

* あなたの好きな映画は？

映画ビデオとその原作本の紹介をします。

巻頭言

『情報の重み』

図書館長：杉浦太一

もくじ

2 * 私のおすすめ本！
新任の先生方の思い出
の本のご紹介
学生の皆さんにも本を
紹介していただきました

4 * 図書館委員会委
員紹介
4月からメンバーが変
わりました
似顔絵にもご注目！

6 * 映画とその原作
図書館で所蔵する映画
ビデオとその原作本

8 * 図書館から
しーず・図書館員から
のメッセージ④
新着図書案内
お知らせ

ある本に次のようなショートストーリー
が載っていた。ある主婦の書いた「午後
二時の電話」という、見知らぬ老婆から
かかってくる電話の話であった。

「621の0000ですか？」「ハイ」と言う
と、「ああ、よかった、やっと繋がった！」
「どなたですか」と言うと、「老人ホーム
のおとめばあさんだよ。6歳、2歳、1歳、私
の死んだ息子たちの年ですよ。戦争中に
みーんな死にました。私の中にあるのは
6.2.1だけ」と言うのだ。8月15日、午後二
時のことであった。それから午後二時
になると頻りに電話が彼女からかかって
くるようになる。痴呆がかなり進んでい
るようで、きっと「夢の中を歩いているの
かもしれない…」と思いながら午後二時に
少し気持ちを乗せながら、その主婦は同
じ女性として戦争の最中3人のまだ幼い
子どもを亡くした老婆の人生を思いやっ
ている、という内容であった。

読者としての私は、この主婦もまたも
しかして同様の痛みを抱えているのかも
しれない…などとかってに思いながらな
ぜか重い荷物を背負い込んだ気がして
「おや！」と思った。「8月15日」という記
号の重みと「6・2・1」と言う数字に秘めら

れた老婆の人生の重み。この2つの重みに
足を取られそうになっている自分がそこ
にいたのである。そして改めて「情報」に
はヒトをよろけさせるような重みがある
ということを考えさせられたわけである。
たった数百の文字でつぶられた小さな情
報が人をよろけさせる大きな力を持って
いる。その大きな力の源は何か、とえば
この場合、「共有する痛み」や「経験」をあ
らわす「記号」や「数字」である。「象徴」と
言ってもよいかもしれない。私も終戦の年
の生まれだから「8月15日」の記号の重さ
がよくわかるし、子の親になってみて、物
のない時代の子育てがいかに大変で、ま
してかわいい盛り3人を相次いでなくし
た母親の思いはいかばかりかと、切なさで
身が縮む思いである。

われわれの言葉で「喜怒哀楽」という感
情の共有を「sympathy」というが、
sympathyの広がりがおそらく情報に力
を与え、受け取るものに「重さ」も含めて
様々な「情報の質」を実感させることにな
るのであろう。軽さー重さ、明るさー暗さ、
甘さー辛さ、等等、「情報」は意味以前に
質の実感であることにいまさら気づいた
次第である。



わたしの好きな作家・本！

A Child's Garden of Verses

R. L. Stevenson著

英米文化学科：鈴木 順子先生

本棚に、いつも表紙が見えるように立てかけてある詩集がある。ロバート・ルイス・スティーヴンソン Robert Louis Stevenson (1850-1894) の“A Child's Garden of Verses”である。

手のひらほどの小さな薄い本で、草花を手の野に立つ愛らしい少女が淡い水彩で描かれている。扉を開くと、無色のペン画に囲まれて、やさしい英語で書かれた短い詩が、品よく並んでいる。眺めるだけで楽しく、心がなごむ。

漱石は、一番の文章家としてスティーヴンソンを推賞したという。私は、「宝島」と「ジキル博士とハイド氏」ぐらいしか知らないけれど、この詩集には、学生時代にたまたま出会って、一目惚れで好きになってしまった。なかなか手強い英米文学に息切れしそうなき、この詩

集を開けば、春風に吹かれるような心地よさがあった。かつて子供だった自分を見つけるうれしさがあった。

スティーヴンソンは、幼時から病弱で、この詩は結核療養中の南仏で書いたのだが、少しも暗いところがない。父母や乳母に愛されて過ごした幼年期を慈しみ、純なこどもの四季を生き生きと描いている。サン・テクジュペリの「星の王子様」もそうだが、大人が楽しむ本である。

“A Child's Garden of Verses” (1885) : PUFFIN BOOKS

『象が空をⅢ 勉強はそれからだ』

沢木耕太郎

英米文化学科：山賀 尚子先生

・象が空を1

夕陽が眼にしみる

・象が空を2

不思議の果実

・象が空を3

勉強はそれからだ

1982年から1992年の10年間のエッセイ集です。

読書には、数多くの本を読んで様々なことを知るといふ楽しみ方と、一冊の本を何度も繰り返し読む、という2種類の楽しみ方があるように思います。私が、後者の方法で読書を楽しむ作家の一人に沢木耕太郎さんがいらっしゃいます。

今回は「象が空をⅢ 勉強はそれからだ」をお奨めします。この作品は、彼が大学在学中に何に興味があり、どうやってノンフィクション作家になったのか、また作家になってからの節目、節目をエッセイ風にまとめてあります。卒業を目前にして興味が変わり、経済学部だったのにも関わらず、文学で卒業論

文を書いたこと。企業に就職したが、自分のやりたいことと程遠いことに気づき、入社一日目で辞表を提出したこと。誰もが必ず通る悶々とした時期を、気取らない言葉で的確に表現してくれていたのがこの作品でした。

この本を読んで、人生に無駄なことはないのだ、回り道も良いものだ、ということを知りました。この本を10年後にもう一度読んで、どう感じる人間になっているかを頭の片隅に置きつつ、皆さんに読んでいただきたいと思います。

わたしの好きな作家・本！

伝記小説の魅力

英米文化学科：森 千佳子先生

幼い頃よく読んだ本は、なぜか、「伝記小説」でした。今の小学生達がヒーローものの漫画に夢中なのと同様、私は世界の偉人達の物語に夢とロマンを求めたのかもしれませんが。アムンゼン、マゼラン、ガリレオ・ガリレイ、キュリー夫人、シュバイツァー博士、などです。冒険家達の伝記は、困難にも負けずに大自然と戦った強靱な精神力と未知の土地へのロマンを感じ、また、どんなに周囲から冷たい扱いをされても、自分の信念を曲げなかったガリレオ・ガリレイの勇気に感動しました。特にキュリー夫人については、ポーランドの寒い冬に暖房代を節約するためコートなどのあらゆる服をかぶりながら、一心に机に向かって勉強したところが印象的でした。当時の私の通信簿は5段階で「あひるの行列」、つま

り、222...ですから、そんなに一生懸命に勉強をする、ということが、とても不思議でした。同時にまた、自分もいつか、そのように勉強してみたいという憧れもありました。シュバイツァー博士は、若くしてすでに音楽家としての名声を得ていたのに、30歳になった朝、人類の為に奉仕をする、との思いを胸に、医学を学び、医師としてアメリカで人々の救済に当たったのです。

皆さんは、昔の人々の話を読んで何がおもしろいのかと思うかもしれませんが、困難に出会った時の精神力、自分の信念を貫くことの出来た勇氣、目的のために努力してゆくことの美しさ、人々のために喜んで身を捧げる人間愛、などを感じ取れるかもしれませんよ。



図書館には自伝・伝記がたくさんあります



小学校の図書室などで一度は読んだことのある本が「伝記」ではないでしょうか？

偉業を成し遂げた人たちの生き方から、あなたも何か見つけられるかもしれませんね。

大人のための偉人伝
続 大人のための偉人伝
二十世紀を変えた女たち
キュリー夫人伝
ジャンヌ・ダルク
わが生活と思想より
シュヴァイツァー

木原武一
木原武一
安達正勝
エーヴ・キュリー
レジーヌ・ペルヌー他
アルベルト・シュヴァイツァー
ジェームズ・ベントリー

新潮社
新潮社
白水社
白水社
東京書籍
白水社
偕成社



夏休み中の図書館情報

★長期貸し出し★ 一人10冊まで 受付開始7月10日（視聴覚資料は長期貸出しできません）

★休暇中の開館★ 8月12日～23日 9月14日～30日

開館時間等詳しいことは、開館カレンダー、図書館ホームページ等で確認してください。

わたしの好きな作家・本！

『The Little Prince』（星の王子さま）

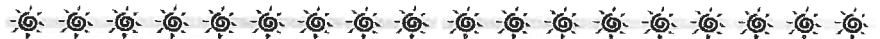
サン＝テグジュペリ著

英米文化学科3年 島崎 真代

サン＝テグジュペリはフランスの作家
「星の王子さま」はフランス語版、英語版、日本語版を所蔵しています。

『Little Prince』とサハラ砂漠の真ん中に不時着してしまったパイロットとの出会いから、『彼』の住む惑星の話しや旅してきた体験談など…、『彼』等は目には見えない大切なものを見つけ出します。そして、大切なものを見つけた『Little Prince』は、静かに眠るように倒れ、自分の星へと還っていきます。

子供から大人まで楽しく読める深い感動の物語を、もう一度読んでみませんか？子供の頃とは違う何か不思議な発見があるはずです。



『嫁してインドに生きる』

タゴール暎子著

芸術文化学科2年 笹田 彩子

「嫁してインドに生きる」はインドの名家へ嫁いだ著者が、大家族制度における習慣、儀式など異文化の日常生活の中で、どのように生きていこうとしたのかを描いた本。
(ちくま文庫 1987年)

タゴール暎子さんは、ごく普通の日本の女子大生でした。が、ひよんな事から出会い、結婚した相手がインド人、それも彼は東洋人として初めてノーベル賞を受賞した詩聖、ラビンドラナート・タゴールの末裔だったのです。今と違い、40年前のインドは日本人にとって遠い遠い地の果てのような国でした。

その中で生活していくうちに直面する、インドの伝統や生活習慣の違い、細かなそこで生活した人しか解らないような事、娘の誕生、ベンガルの子守歌やお食い初めの儀式、嫁と姑の関係、詩聖タゴールについて、貧しい人々の暮らし振りなど、インドの文化の

魅力的なところが沢山紹介されています。また、一人の日本の女性であるタゴール暎子さんが、初めはお国柄の違いにとまどいながらも、徐々に「インド化」して、立派なインドの母さんになっていく様子も面白いです。

私はこの本に中学生の時に会いました。インドの暮らしや自然、ガンジス川の流れなどが目に浮かび、すっかりインドにいるつもりになって夢中で読みました。

この本を読んでいると、世界は本当に広いなあ、という楽しく大きな気持ちになってきます。毎日の生活がどうもマンネリだな、と思ったらぜひ手にとって読んでみてください。

図書館委員会の先生ご紹介

図書館は、館長はじめ委員会の先生方と協力して運営しています

図書館長
杉浦太一先生



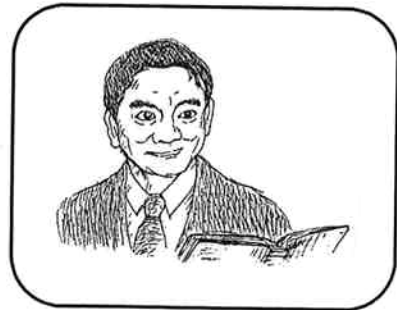
下川学先生



本を読むことも、体を動かすことも非常に重要なことです。
大学の施設を有効に利用しましょう。

Ramon Fargas先生

Great ideas and inspirations come when we read, think, and spend moments studying in silence. The library is probably the best place in the college where one can do all these at the same time. I hope students realize and take more advantage of this wonderful privilege available to them.



藤原章雄先生



佐野さんが描いて下さった似顔絵(Brava!)の衣裳はモーツァルトの時代の貴族の衣裳です。オペラでは「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」「コシ・ファン・トゥッテ」等。これらの作品はビデオやレーザーディスクで楽しむ事が出来ます。又今回ワールド・カップで日本のサポーターが歌っていた応援歌はオペラ「アイーダ」の行進曲の一フレーズです。私達の身近な所にオペラの中の名旋律が使われている事が多々あります。上記のオペラその他、私の薦める作品は「カルメン」「椿姫」「トゥーランドット」などがあります。

皆様の御来場をお待ちしています。

映画とその原作

ハリー・ポッターは観ましたか？ それとも読みましたか？



『ハリー・ポッターと賢者の石』 J.K.ローリング原作 Harry Potter and the sorcerer's stone

イギリスの女流作家J.K.ローリングの作品。「ハリー・ポッターと賢者の石」は1997年に発行され、その後1年に1作品発表され現在4巻まで出ています。日本語版もこの秋に第4巻が出版される予定です。図書館では英語版はもちろん、日本語版も全巻そろっています。

児童書とはいえ、大人が読んででも充分楽しめるファンタジー。図書館でも貸し出しの上位に入っている人気の本です。まだ読んでいない方は、是非一度手にとってみてはいかがでしょうか。

映画化に当たっては、ローリングの意思に沿い原作に忠実であらねばなりませんでした。監督のクリス・コロンバスは見事にこの作品を仕上げました。映画は昨年12月に公開されるや否や、「千と千尋の神隠し」を越える人気となり、12日間で50億円の興行収入は日本歴代一位の大記録となりました。今年5月には早くもDVD・ビデオが発売になり図書館でも早速購入しました。原作とあわせてお楽しみください。

利用回数ベスト20!

スタンド・バイ・ミー
ロミオとジュリエット
エマ
プリティ・ウーマン
マイライフ・アズ・アドッグ
東京日和
ミセス・ダウト
羊たちの沈黙
レナードの朝
魔法の宅急便
恋愛小説家
ゲーニーズ
ホーム・アローン
いつか晴れた日に
ティファニーで朝食を
ER 1
アルジャーノンに花束を
2001年宇宙の旅
秘密の花園

『スタンド・バイ・ミー』 S. キング原作 Stand by me

利用回数ベスト・ワンのこの作品、原作は「The Body」(死体)といささかぶっそうなタイトルがついています。原作者のキングはモダンホラーの作家として有名ですが、この作品はホラー作家としてのイメージを払おうとして書きためておいた短編の一つです。

田舎町に住む4人の少年の夏休みのわずか二日間の「死体探し」の冒険旅行を描いたものです。このたった二日間の冒険を通して彼らは子どもから大人の世界へと踏み出していきます。少年たちは12

歳。多感な思春期の、子どもから大人への変わり目をそれぞれの家庭問題や友達関係の変化をからませて描いています。

ハリー・ポッターも「千と千尋の神隠し」の千尋もちょうど同じ年頃の主人公ですね。表現の仕方は三者三様ですが、共通するものを感じます。思春期を過ぎてしまった皆さんには自分の経験を思い出し、懐かしさを伴った共感を得られる作品として人気があるのかもしれないね。

映画とその原作

古典の名作から現代物まで、この他にもたくさんあります。(カッコ内は翻訳書のタイトル)

嵐が丘 Wuthering Heights	E.プロテ	風と共に去りぬ Gone with the wind	M.ミッチェル
アラバマ物語 To kill a mockingbird	H.リー	クリスマス・キャロル A Christmas Carol	C.テイケンズ
アビラの叢書 (知恵の七柱) The Seven Pillars of Wisdom	T.E.ロルス	じゃじゃ馬ならし The Taming of the Shrew	W.シェイクスピア
アルジャーノンに花束を Flowers for Algernon	D.キス	スタンド・バイ・ミー The Body	S.キング
アンネの日記 De Dagboeken van Anne Frank	A.フランク	ハムレット Hamlet	W.シェイクスピア
怒りの葡萄 The Grapes of Wrath	J.スタインベック	羊たちの沈黙 The silence of the lambs	T.ハリス
いつか晴れた日に(分別と多感) Sense and Sensibility	J.オースティン	秘密の花園 The secret garden	F.バーネット
エデンの東 East of Eden	J.スタインベック	マクベス Macbeth	W.シェイクスピア
エマ Emma	J.オースティン	ミセス・ダウト Mrs. Doubtfire	A.フアイン
大いなる遺産 Great Expectations	C.テイケンズ	リア王 King Lear	W.シェイクスピア
オズの魔法使い The Wizard of Oz	F.ボーム	レナードの朝 Awakenings	O.サックス
オセロ Othello	W.シェイクスピア	老人と海 The old man and the sea	A.ハミングウェイ
オリエン特急殺人事件 Murder on the Orient Express	A.クリステイ	ロミオとジュリエット Romeo and Juliet	W.シェイクスピア
オリバー (オリヴァ・ツイスト) Oliver Twist	C.テイケンズ	若草物語 Little women	L.メイ・オット

『映画と文学』 関連図書

映画で読むシェイクスピア
映画で楽しむイギリス文学
アメリカ映像文学にみる愛と死
アメリカ文学と映画
映像文学にみるアメリカ
映画で楽しむアメリカ文学
アメリカ南部の文学と映画

森祐希子著
吉田徹夫ほか著
日本マラッド協会編
曾根田憲三著
日本マラッド協会編
八尋春海編著
山田信也著

紀伊国屋書店
金星堂
北星堂書店
開文社出版
紀伊国屋書店
金星堂
近代文藝社



図書館は、いつもみなさんのために!

しーず・図書館員からのメッセージ④

本の意味について

図書館員：大庭 直樹

4月に教務課(現学務課)から異動しました。今までは学生募集という学外向けの業務でしたが、これからは、いかに学生の皆さんが気持ちよく図書館を利用していただけるかを常に考えながら業務にあたりたいと思っています。

さて、図書館に勤務して約3ヶ月、毎日多くの「本」と接していると、あらためて『「本」とは何か』と素朴な疑問をもったので、この『「本」とは何か』を考察してみようと思います。

皆さんもご存知のように「本」を分解すると、「本」は「紙」に「活字」を「印刷」して作られています。これら「紙」「活字」「印刷」の言葉の意味を調べてみました。まず、「紙」とは、「植物の繊維を水中で密にからみ合わせ、薄く平面状にのびして乾燥したものの」、「印刷」とは、「インクを使い、版面

に描き出されている文字・絵画・模様などを、紙その他の被印刷体の表面に刷り出すこと」、そして、「活字」の「活」は「(1)生きること。(2)刺激を与えて、気力を起こさせる」の意味があります。そうです、「本」は、生きていたのです。ですから、書架に置かれている間は冬眠している状態ですが、「本」は、たまには手にとり、ページをめくり、新鮮な空気を吸わせる必要があるのです。そして、それによって、私たちは、知恵、知性、知識等を得たり、迷ったときのヒントを与えてくれたり、また、気分が落ち込んだときに気持ちを奮い立たせる力を与えてくれたりもしてくれるのです。「本」を活かすことによって私たちも活かされる。「本」とは、そんな存在なのではないでしょうか。

✻✻✻✻✻✻✻✻✻✻ 新着図書案内 ✻✻✻✻✻✻✻✻✻✻

お 願 い

※館内での携帯電話のご利用は、ご遠慮ください。

※館内への飲食物の持ち込みは、お断りいたします。

※財布などの貴重品は、必ず身につけてください。

- ☆ キリスト教教父事典 H. クラフト著 教文館
- ☆ よくわかるカトリック その信仰と魅力 小高毅著 教文館
- ☆ ビンゲンのヒルデガルト 中世女性神秘家の生涯と思想 H. シッペルゲス著 教文館
- ☆ 中世思想原典集成 15 女性の神秘家 上智大学思想研究所監修 平凡社
- ☆ 共産主義黒書 ソ連篇 ステファヌ・クルトワほか著 患雅堂出版
- ☆ パリ外国宣教会年次報告1-5 松村管和・女子カルメル修道会共訳 聖母の騎士社
- ☆ 沈黙のこぼれ 文化行動思考 エドワード・T・ホール著 南雲堂
- ☆ 英語教師Do's & Don'ts クマベ先生心得100箇条 隈部直光著 中教出版
- ☆ 入門語用論研究 理論と応用 小泉保編 研究社
- ☆ 異文化コミュニケーションの理論 新しいパラダイムを求めて 石井敏ほか編著 有斐閣
- ☆ より良い英語授業を目指して 教師の疑問と悩みにこたえる 斉藤栄二・鈴木寿一編著 大修館書店
- ☆ Tanaka Ikko 田中一光 伝統と今日のデザイン 田中一光デザイン室編集 トランス・アート

✻✻✻✻✻✻✻✻✻✻

東京純心女子大学図書館報 **びびりあ**
N.S.11 発行:2002. 7.10

〒192-0011 八王子市滝山町2-600
電話 0426(92)0326(代) E-mail ulibrary@t-junshin.ac.jp